

令和6年度土木学会全国大会における研究討論会報告

佐藤・松村（リスクコミュニケーション小委員会 幹事長）

1. 概要

■日時

2024年9月2日（月）10:00～12:00（オンライン LIVE 形式）

■タイトル

不確実性の諸相とリスクコミュニケーション

■座長（敬称略）

奈良由美子（放送大学、原子力土木委員会リスクコミュニケーション小委員会委員長）

■参加者（敬称略）

趣旨説明 中村晋（日本大学）

話題提供 蛭沢勝三（元東京都市大学）、平田京子（日本女子大学）、堀口逸子（慶応義塾大学）、奈良由美子（放送大学）、桑垣玲子（電力中央研究所）

■主題

原子力土木委員会はリスクコミュニケーション小委員会を擁している。同小委員会では、土木工学／電力土木分野に加えて、理学／建築学／機械工学／社会学といった視点から、分野横断的にリスクとそのコミュニケーションの共考を行っている。リスクコミュニケーションとは、個人、機関、集団間での情報や意見のやりとりを通じて、リスク情報とその見方の共有を目指す活動のことである。原子力をめぐってはリスクコミュニケーションの必要性が認識されているが、この活動は決して易しいものではない。その難しさは、リスク問題が常に不確実性をはらんでいることに拠る。本討論会では、リスク問題において不確実性はどのように扱われ、リスクコミュニケーションはどのように行われているかについて、異なる分野（原子力発電、自然災害、食品安全、感染症対策など）の専門家から述べてもらおうと共に、参加者と議論し、この問題の実態と課題を考える。

2. 当日進行

■趣旨説明（資料掲載場所→ <https://committees.jsce.or.jp/ceofnp/node/104> ）

- ・ 研究討論会の趣旨と構成（中村先生）

■話題提供（資料掲載場所→ <https://committees.jsce.or.jp/ceofnp/node/104> ）

- ・ 原子力地震・津波等分野におけるリスクコミュニケーション（蛭沢様）
- ・ 建築分野におけるリスクコミュニケーション（平田先生）

- ・ 食品分野におけるリスクコミュニケーション（堀口先生）
- ・ 感染症分野におけるリスクコミュニケーション（奈良先生）
- ・ 原子力土木分野の専門家・技術者とリスクコミュニケーション（桑垣様）

■ 討論

話題提供の後、奈良先生が座長を行い、原子力分野におけるリスクコミュニケーションの現状を認識し、実践に向けて課題を抽出するという観点で、討議を行った。

■ 備考

- ・ 聴講者数 69名
- ・ 討論会開催中、開催後の質問はなし
- ・ CPD申請のレポートでは、有意義であったとの回答が多数
- ・ 録画ファイルを運営より受領済み

（参考）2011年以降の研究討論会開催状況

開催年度	開催地	タイトル
2025	熊本大学	？
2024	東北大学 (オンライン)	不確実性の諸相とリスクコミュニケーション (リスクコミュニケーション小委員会による主催)
2023	広島大学他	開催せず
2022	京都大学他 (オンライン)	リスク情報を活用した原子力防災への取り組みに向けて
2021	東海大学 (オンライン)	原子力安全に係わる分野横断の壁の現状と打開の方向性
2020	名古屋工業大学	開催せず
2019	香川大学	地震・津波に対する重要インフラのリスク評価への高性能計算の活用
2018	北海道大学	開催せず
2017	九州大学	原子力土木委員会での危機耐性への取り組み
2016	東北大学	原子力関連施設と断層変位
2015	岡山大学	東北地方太平洋沖地震津波を踏まえた津波評価技術
2014	大阪大学	原子力安全と原子力土木委員会の果たす役割
2013	日本大学	開催せず
2012	名古屋大学	開催せず
2011	愛媛大学	開催せず